

# そうじの力だより

VOL.246



## 支援サポート

変える勇気が会社を成長させる  
～見た目が変わると気持ちが変わる

(株)セルビー・ハウジングは、兵庫県赤穂市に本社を置き、姫路市にも支店を持つ、注文住宅メーカーです。

の活動をお手伝いしています。一年前から整理・整頓・清掃

そもそも定番というものが存在しないので、要不要の判断がとても難しくなります。

社、姫路支店とともに、にわかに動きが出てきました。

切つて不要物を捨てたり、大胆にレイアウト変更をしたりして、物理環境が大きく変わりつつあります。

赤穂本社には、敷地内にトラック用のコンテナが置いてあり、そこに資材や建材を詰め込んでいたのですが、整理してモノを減らし、コンテナを撤去しました。おかげで、駐車スペースが拡がりました。



必要量小限にたつた姫路支店のバックヤード

こうした厳しい条件下で始まつた整理・整頓・清掃ゆえ、始めたころは、なかなかペースが上がりませんでした。社員さんたちにも、それぞれキャラクターの違いがあります。なかなか捨てられない人もいれば、思い切ってどんどん捨てていく人もいます。

会社として、強制的にベースを上げさせるようなことはしません。機が熟していくのを待ちます。

そんな同社で、ここ最近は、赤穂本



【After】道具が壁掛け式になった本社倉庫



【Before】モノがあふれていた本社倉庫

現在、大幅なレイアウト変更を実施している途中で、より一体感の感じられる事務所に生まれ変わりつつあります。

上中祥暢社長は、「変えたいと思って  
いる人が、皆を巻き込んで、思い切って  
進めてくれている。私にはたいがい事後  
報告したが(笑)、それでよいと思う。」  
と語ってくれています。同社の取り  
組みは、これからが本番です。(小早)

企業・団体の研修や講演を承ります。目的や対象者に応じて、時間や内容をカスタマイズできます。まずはホームページをご覧ください。

各種SNSにて、最新情報発信中！  
QRコードよりご覧ください ▶



そうじの力だより

VOL.246



## 掲載記事紹介



先日、依頼を受けて、日本実業出版社の刊行する月刊誌『企業実務』に、記事を寄稿しました。

依頼を受けたテーマが、「年末大掃除」。ご承知のとおり、

私が推し進めている環境整備(整理・整頓・清掃)とは、大掃除を不要にすることです。しかし、もちろん、大掃除でも適用できることなので、それを書きました。

以下、一部を抜粋してご紹介します。

ここで重要なのは、「整理→整頓→清掃」の順序です。まず整理をしなければ、不要な物が邪魔になりその次に進めません。整理が不十分なまま整頓をすると、使いもしない物の収納に頭を悩ませる、といった不毛なことが起こります。整頓が不十分なまま清掃をすると、せっかくピカピカに磨いた物の置場がわから

月刊『企業実務』2025年12月号

～“職場改革”につなげる「年末大掃除」の進め方～

なくなり、また乱れるといったことになります。

もう一つの大切な原則は、「見えないところ」にきちんと手をいれることです。見えるところは、普段の掃除によって、ある程度はキレイになっていることでしょう。大掃除では、普段はなかなか手を入れられない、裏や奥、隅に手をいれることが重要です。)

不要なものを捨てる際に大事なことは、「使えるか使えないかで判断」するではなく、「使うか使わないかで判断」することです。機能的に使っても、実務上使わないものは捨てましょう。)

工場の中に、不要な道具や資材が溜まっているのでしょうか。原則として、一年以上使っていないものは捨てましょう。通常私たちのビジネスは12ヶ月単位で動いているので、一年以上使っていないものは、まず今後も使いません。また、工場の中に、遊休機械が放置されてしまいませんか。製品の仕様変更などで、まだ使える機械ではあるものの、何年も使用されずに放置されていることがあります。

ます。購入価格が高かったから、という理由で処分をためらう経営者が多いのですが、モノよりもったいのはスペースです。狭めているスペースのぶんだけ、生産性が悪くなります。)

見えないところを掃除する際のコツは、「動かせるものは動かす」あるいは「外せるものは外す」ということです。什器や機械は、動かせるのであれば、動かしましょう。それらが配置されていた下部や背面があらわになります。扉やカバーも、取り外せるものは取り外しましょう。その奥の部分があらわになります。)

大掃除は、社員のリーダーシップを育て、コミュニケーションを促進する絶好の機会です。業務そのものと違い、スキルや経験は不要なので、思い切って若手を実行委員長に任命するのもよいでしょう。)

言なれば、環境整備とは、毎日、毎週、あるいは毎月、大掃除をするようなものです。回数(頻度)が増えれば増えるだけ、効果も大きくなることは、いうまでもありません。

(小早)

### 編集後記

大祓



岡山県の奥地に、サムハラ神社(本当は難しい漢字)というのがあります。祈願した武道家が鉄砲の弾を避けたなど、すべての災厄を祓い除けるという噂の、不思議な神社です。

先日、出張の合間に同社に足を延ばして、お参りしてきました。

果たして、旧年の災厄を祓い落し、新たな年の希望を拓く靈験を得られたでしょうか…。

2025年、お世話になりました。誠にありがとうございました。  
2026年も、どうぞよろしくお願ひいたします。

### 飛鳥のつぶやき

ものづくり



市役所で開催されたスマートアシスタント作成体験会に、「ゲームクリエイターになりたい！」という長男と参加してきました。



「ウェブサイトにリンクするボタンを作成する」「AI音声を出す」などの、PCで作成したプログラムが、リアルタイムでスマートに反映され、親は大興奮でしたが、本人は「なんのこっちゃ」という様子(笑)。

「自分が作ったものが動く」感動、楽しさが、そのうち芽生えると良いなと思います( ˘◡˘ )。

2026年も、引き続きよろしくお願ひいたします！(大槻)

### 株式会社そうじの力

そうじで組織と人を磨くコンサルティング

弊社は“そうじ=整理・整頓・清掃”を通じた企業風土改革を支援します。

講義、実習、チームミーティング、計画作り、現場巡回を通じて、社長と社員の意識改革を図り、健全な企業風土作りをお手伝いします。

支援期間は1年から。毎月1回訪問を

原則としますが、企業規模や現場の状況、ご要望に応じて、プログラムをオーダーメイドします。

また各種団体向けの講演のご依頼も受け付けております。(全国対応)

そうじの力だより第246号 2026(令和8)年1月1日発行 発行者:小早 祥一郎(株式会社そうじの力 代表取締役)  
〒370-0078 群馬県高崎市上小鳥町307-1 TEL:050-3709-2333 FAX:050-6868-2721 メール:[info@soujinochikara.com](mailto:info@soujinochikara.com)